

CUC 公開講座 2023【第3回】
「環境配慮型農業を活用した他セクターとの連携によるSDGs推進(その1)」
「養蜂事業による福島活性化事業(福島S-HART事業)」

カーボンニュートラルや自然環境破壊対策、地域経済発展の手法として、都市型養蜂(Urban beekeeping)が着目されている。環境面や経済面において向上の余地のある地方空港において、この都市型養蜂を活用した新たな対応策が求められている。

本講座では、産学連携・高大連携プロジェクトである「福島S-HART事業」を事例として取り上げる。S-HARTは、Sustainable-Honey Airport & Resilient Townの頭文字をとったものであり、2021年3月31日時点の参加団体は、千葉商科大学、福島県立須賀川創英館高等学校、株式会社ふるサボ、グランシア須賀川、須賀川養蜂伝右衛門はちみつ、銀座ミツバチプロジェクト、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社プロシード、株式会社ANA総合研究所、福島空港ビル株式会社、株式会社カルティブ、だいがくアシスタンスである。

このプロジェクトの目標は、養蜂を介した地方空港活性化のモデル構築である。本講座では、その様相について、商品化、養蜂という2つの観点から紹介する。

《 講座の進行 》

1. 15:30 ~ 15:33 **【学長挨拶】**
原科 幸彦 (千葉商科大学 学長)
2. 15:33 ~ 15:36 **【学長プロジェクト3リーダー挨拶】**
吉竹 弘行 (千葉商科大学 特定教授)
3. 15:36 ~ 15:55 **【第1報告】**
「『福島S-HART事業』について」
猪熊 ひろか (千葉商科大学 人間社会学部 教授)
4. 15:55 ~ 16:20 **【第2報告】**
「高校としての活動」
大橋 清作氏 (福島県立須賀川創英館高等学校 教諭)
5. 16:20 ~ 16:45 **【第3報告】**
「『須賀川創英館高校とミツバチプロジェクトの出会いから見えてくる世界』
伝右衛門はちみつで地域が元気に!!」
田中 淳夫氏 (NPO 法人銀座ミツバチ 副理事長)
6. 16:45 ~ 16:55 **【第4報告】**
「活動に参加して」
小野塚 彩 (千葉商科大学 人間社会学部 3年)
7. 16:55 ~ 17:05 **【質疑応答】**
8. 17:05 ~ 17:10 **【総括、閉会挨拶】**